

平成22年度 第2回経営工学教育FD/ICT活用研究委員会議事概要

I. 日 時：平成22年9月18日(土) 午後1時30分から5時30分まで

II. 場 所：私情協事務局

III. 出席者：渡邊委員長、井上委員、玉木委員、細野委員、佐々木委員、小池委員
事務局：井端事務局長、森下主幹、野本職員

III. 議事概要

1. 当日の資料での検討（各委員からの説明）

(1) 委員より③. 2資料

- ・ネットワークの動作が見える環境、実習を通じて学ぶ。データ（現実的な）問題に対して学ぶ。ネットワークを通じて情報収集。
- ・課題は、経費、教員の格差と負担。

(2) 委員長より③. 1資料、追加分

- ・プログラム技術が大学では主な柱としている。ソフトは学校で開発したものを利用。LMSは先生によって利用が分かれる。
- ・課題は、実践応用がつきにくい、実務力が乏しい、LMS利用が少なくICTは教員の労力が必要。パソコンが少ない。

(3) 委員③. 3資料

- ・パソコン組み立て演習を通じて、基礎知識、技術を身に付ける。
- ・90分×3の2週分のスケジュールで一人2回の組み立て実施。
- ・課題は、パソコンの台数とラインバランスが取れているのか。
- ・ICTで抜けているのはリアル。
- ・情報産業との結びつきを付けて、国際分業までの発展性などのストーリーではどうか。需要と供給、生産管理を考察させるなど。

(4) 委員③. 4資料

- ・課題は、企業データの利用に関してと、仮想の限界。
- ・授業では仮想と現実の差から学ぶ。

(5) 委員追加資料

- ・調達と生産管理でERPを導入する仮想プロジェクトで、チョコQ6車種作る1週間ぐらいのデータ。社会人大学院で授業、ERP入れたが失敗したケー

(6) 委員長追加資料

- ・仮想企業のビジネスモデルで組み立て工場の生産シュミレーションと在庫管理でソフトは大学で開発。
- ・予測、需要の関係と予測誤差がお金にひびくことが、よくわかる。学生によっては足らなくなり失敗したケースあり。
- ・エクセルで作成して実施したことがあるが、エクセルでは面白くなかった。市場、構造、細部のディテール完成度、リアル感が大事。やる気動機づけになる。

2. 検討事項

- ・イメージ感が重要で、抽象的では頭に残らない。
- ・問題発見解決、なぜ必要なのかを、効果はどのくらいなのかで学ばせる。
- ・分析手法は教えるが、現実はどうしたら答えが出せるのかがわからない。

3. 授業の開発モデル案について

- ・3モデル案作成予定
- (1) 到達目標2. ⑤で、モデル作成
 - (2) 到達目標3. ③で、モデル作成
 - (3) 達成目標1. ④で、現実データに基づいた分析などで作成

4. 今後のスケジュール

- (1) 授業の開発モデル案を、11月24日（水）までに、メーリングリストに提出
各委員は確認の上、コメントを記入願います。
- (2) 次回委員会
 - ・12月11日（土）午前10時から午後1時まで

以上